

全般 3か月予報

(9月から11月までの天候見通し)

平成28年8月24日

気象庁 地球環境・海洋部発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、全国で高い確率50％です。降水量は、北日本と沖縄・奄美で平年並または多い確率ともに40％です。

9月 北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。東日本と西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。西日本太平洋側と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は、全国で高い確率60％です。降水量は、北日本で平年並または多い確率ともに40％です。

10月 全国的に、天気は数日の周期で変わるでしょう。北日本太平洋側、西日本では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

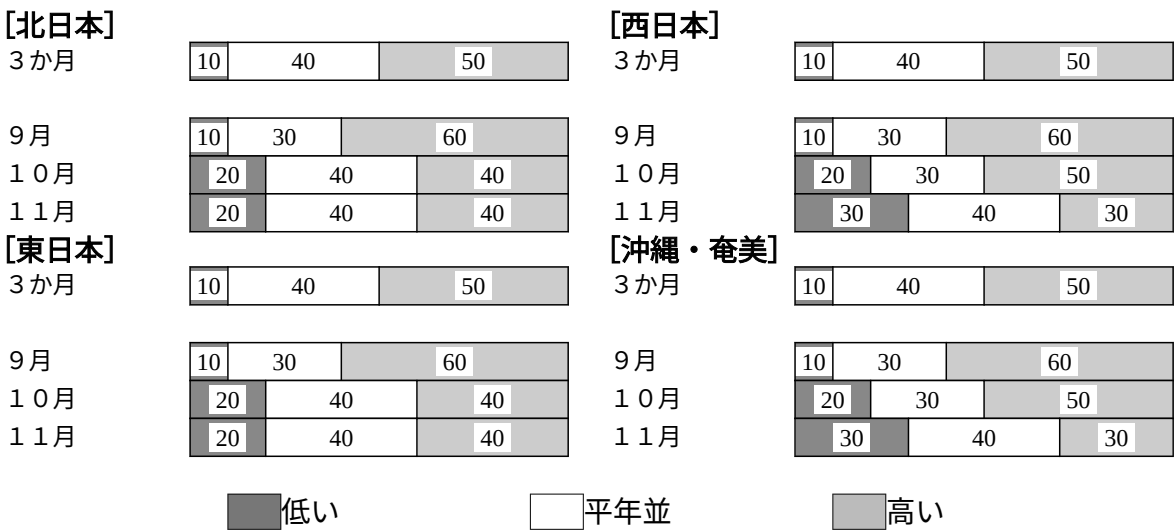
気温は、北・東日本で平年並または高い確率ともに40％、西日本と沖縄・奄美で高い確率50％です。降水量は、沖縄・奄美で平年並または多い確率ともに40％です。

11月 北日本日本海側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。西日本日本海側では、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。北日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

気温は、北・東日本で平年並または高い確率ともに40％です。降水量は、北日本で平年並または多い確率ともに40％、西日本で平年並または少ない確率ともに40％です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率（％）>

<<気温>>



<<降水量>>

[北日本日本海側]

3 か月	20	40	40
------	----	----	----

9 月	20	40	40
1 0 月	30	40	30
1 1 月	20	40	40

[北日本太平洋側]

3 か月	20	40	40
------	----	----	----

9 月	20	40	40
1 0 月	30	40	30
1 1 月	20	40	40

[東日本日本海側]

3 か月	30	30	40
------	----	----	----

9 月	30	30	40
1 0 月	30	40	30
1 1 月	30	30	40

[東日本太平洋側]

3 か月	30	40	30
------	----	----	----

9 月	30	30	40
1 0 月	30	40	30
1 1 月	40	30	30

[西日本日本海側]

3 か月	40	30	30
------	----	----	----

9 月	30	30	40
1 0 月	30	40	30
1 1 月	40	40	20

[西日本太平洋側]

3 か月	40	30	30
------	----	----	----

9 月	30	30	40
1 0 月	30	40	30
1 1 月	40	40	20

[沖縄・奄美]

3 か月	20	40	40
------	----	----	----

9 月	30	30	40
1 0 月	20	40	40
1 1 月	30	40	30

■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

<次回発表予定等>

1 か月予報：毎週木曜日 14時30分 次回は8月25日

3 か月予報：9月23日（金） 14時

寒候期予報：9月23日（金） 14時

なお、9月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料（平年並の範囲）>

（１）1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温などの平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)		降水量平年比(%)
北日本	-0.2～+0.4	日本海側 太平洋側	95～104 92～108
東日本	-0.4～+0.5	日本海側 太平洋側	90～113 88～105
西日本	-0.3～+0.6	日本海側 太平洋側	84～112 75～113
沖縄・奄美	-0.3～+0.2		79～105

（２）この予報期間の地域平均気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	9月	10月	11月
北日本	-0.5～+0.3	-0.2～+0.3	-0.4～+0.5
東日本	-0.4～+0.5	-0.6～+0.5	-0.3～+0.6
西日本	-0.4～+0.3	-0.4～+0.6	-0.3～+0.5
沖縄・奄美	-0.1～+0.2	-0.5～+0.5	-0.5～+0.4

（３）この予報期間の地域平均降水量平年比の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	9月	10月	11月
北日本日本海側	86～117	84～109	91～105
北日本太平洋側	84～107	78～115	77～116
東日本日本海側	68～121	86～109	93～106
東日本太平洋側	80～112	69～111	61～110
西日本日本海側	82～108	63～118	82～114
西日本太平洋側	68～125	64～102	69～112
沖縄・奄美	70～103	67～94	78～117

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。